



「2012年日本産業広告賞」を受賞しました

オルガノ株式会社

2012 年 12 月 4 日

日刊工業新聞社主催の「2012 年日本産業広告賞」において、当社新聞広告が新聞部門第 4 部(スペース 2.5 段以上 7 段未満)で第 3 席を受賞しました。

レンズから、ミズへ。

ガリレオの望遠鏡から400年。
宇宙最大の謎を解くのは水の力かもしれません。

1609
ガリレオの天体望遠鏡
人類初の天体観測を可能にし、月のクレーター・山脈の発見などに貢献。

1897
ゼーメス天文台
世界最大の口径望遠鏡を持つ
天文台。20世紀前半の天文学
の中心。

1980
VLA (Very Large Array)
直径30m、27機のアンテナで
構成し、電波望遠鏡では最高で
最も広い視野の観測が可能。

1990
ハッブル宇宙望遠鏡
宇宙船から打ち上げられた
天文学望遠鏡。宇宙最大の観測
能力を持つ。

2011
XMASS
(X-ray Monitor for Weakly Interacting Massive Particles)
地下1,000mに設置。宇宙から飛来する
ダークマターの直接観測を目指す。
ダークマター
全宇宙のうち、23%を占めるとされる謎
の物質。目に見えず、あらゆる物をすり抜けるという性質を持っている。

Ecologically Clean
オルガノ

※この広告はXMASS実験装置のイメージです。実際の装置とは異なります。

2枚のレンズを用いたガリレオの望遠鏡から400年経った現在、宇宙の解明の鍵を握る未知の物質「ダークマター」の検出に「水」が大きな役割を果たしています。それは岐阜県飛騨市で行われているXMASS実験。ダークマターを検出する液体キセノン検出器の周りを700m³もの超純水で満たすことで観測の障害となる放射線を遮蔽し、世界最高クラスの検出精度を実現します。ガリレオも驚いたはずの宇宙の謎を解くその日まで、世界初となるダークマターの直接観測を目指すXMASS実験をオルガノの超純水技術が支えます。オルガノは宇宙の謎を解明するXMASS実験に超純水を提供しています。オルガノの超純水

山梨大学宇宙線研究所 飛騨市立飛騨市立天文台 岐阜県立飛騨市立天文台
オルガノ株式会社 〒130-8631 東京都中央区新富1丁目2番8号 電話 03-5635-5100 FAX 03-5699-7030 www.ORGANO.CO.JP

今回受賞した新聞広告は、2012 年 8 月 23 日付の日刊工業新聞に掲載されたもので、東京大学宇宙線研究所の神岡宇宙素粒子研究施設(岐阜県飛騨市)にて実施中の XMASS 実験に用いられている当社の超純水製造装置をテーマに取り上げています。

XMASS とは、全宇宙の 23%を占め、目に見えずあらゆる物をすり抜けるとされる物質「ダークマター」を直接観測するための最先端の実験施設です。ダークマターの観測は宇宙創生のメカニズムの解明に大きく貢献するといわれています。ダークマターを検出する液体キセノン検出器の周りには 700m³もの超純水が満たされており、観測の障害となる放射線を遮断しています。

広告では、宇宙の観測が 17 世紀初頭のガリレオの望遠鏡に始まり、宇宙望遠鏡などを経て現在では超純水が大きな役割を果たしていることを、宇宙を観る道具の変遷と宇宙のスケール感を合わせて表現いたしました。

オルガノは、今後も水処理技術を通して、産業の発展や地球環境の維持・創造とともに、科学技術の発展にも貢献してまいります。

■ 日本産業広告賞は、日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966 年に制定以来毎年実施されているものです。